



ひなどい



【教育目標】

なかよく せいっぱい
遊ぶ子ども

第4号

令和7年7月17日
新潟市立新津第三幼稚園より



楽しく体を動かして遊ぶ

園長 大矢 晃子

当園の子どもたちは、体を動かして遊ぶことが大好きです。暑い日が続いているこの時期は、全身を使って水遊びやプール遊びを思い切り楽しんでいます。園生活の中では、友達や先生と関わって、追いかっこや鬼ごっこ、マットの上で転がる、少し高いところからジャンプする、など体を動かす遊びをしています。子どもたちの様子を職員で話し合ってみると、走ることは好きではあるが転びやすい、ルールのある遊びになると抵抗感をもつ子がいる、など実態がわかってきました。さらに、生活面での自立や食事など、発達段階においてできるようになって欲しいことなどの課題も出てきました。

そこで、今年度は園の研修テーマを「やりたい遊びに取り組み、自分に自信をもつ子ども～体を動かす遊びを通して～」とし、教育活動の中で研究を進めることにしました。

また、幼児期に目指したい子どもの姿を共有するために、5月の保育参観、学級懇談会では、各担任から園の取組や子どもの様子をお伝えしました。その後、保護者の方から、家庭でのお子さんの様子や、お子さんの苦手なところ、またはお子さんへの願いなど具体的に話をお聞きすることができました。



「こうなってほしいな」「お子さんの苦手なところ」など（保護者の方からの話 抜粋）
＜年少たんぽぽ組＞

・食べたことがない物も挑戦してほしい。・できなくてもあきらめずに挑戦してほしい。・お友達を思いやれる子になってほしい。・靴を履く、服を着るなど自分できることは自分でやってほしい。

＜年中もも組＞

・間違えるのが嫌いかも。・体を動かすことが少ない。・自分の気持ちをうまく伝えることが苦手。・勝負ごとに負けるとすぐあきらめてしまう。自分の気持ちをもっと伝えられるようになってほしい。

＜年長あやめ組＞

・嫌な気持ちを言葉に表すことが苦手。・リズムに合わせて体を動かすことが苦手。（テンポがずれる）
・立って内履きを履けない。・はしがよく持てない・勝ち負けのある遊びでの切り替えが悪い。

このように、体を動かすことだけでなく、生活面での自立、心の成長においても、子どもたちへの願いがたくさんあることがわかりました。このような実態を踏まえて、園では運動面だけでなく、心の成長、またそのための食事などの習慣なども大事であると考えています。

運動遊びを通して、体力づくりだけでなく、体を動かす心地よさや楽しさ、できなくてもあきらめずに挑戦する気持ち、友達と力を合わせてやり遂げる力、など幼児期に育みたい姿を目指して、取組んでいきたいと思います。お子さんとできる遊びを園からも紹介していきますので、ご家庭でも、お子さんと触れ合って遊んでみてください。

6月28日(土)保育参観日「おもちゃで遊ぼう」



保育参観日に「おもちゃ作り」の先生をお招きして、親子で作って遊びました。キラキラの遊んでも飾っても楽しいものが出来上がりました。

7月7日七夕のおまつり



みんなの笹飾りを見ながら七夕の会をしました。丁寧に作った笹飾りのことを教えたり、みんなで歌を歌ったり、楽器を使ったコンサートをしたり、楽しい会になりました。
～みんなのおねがいがかないますように～



今年は暑くなる日が続き、水遊びやプール遊びをたくさん楽しんでいます。水に慣れることや、顔に水がかかっても平気になることだけでなく、水着に着替えることや、遊んだ後の始末なども、自分のできるようになりました。この季節ならではの経験をたくさんしています。

結幼稚園に行って、お友達と遊びました！

年長あやめ組の子どもたちは結幼稚園の年長組さんと、一緒に遊んだり、プールに入れてもらったり、交流を楽しんできました。名前を覚えて、「また一緒に遊びたい！」と言うくらい仲良しになりました。今度は第三幼稚園に来てくれるといいね。

おれのお手紙を渡しました。

